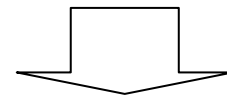


学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲は高く、鑑賞態度や合唱態度が良く真面目に取り組んでいる。</li> <li>・音楽の表現の工夫や技能においては、一人ひとり真面目に取り組もうとする姿勢を感じる。表現の技術や自信が付けばよりよくなると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の表現技能は大分向上し、意欲的に合唱練習に取り組んでいる。</li> <li>・学習に対する集中力の違いから、基礎的知識の理解における平均点がやや低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の表現技能は大分向上し、意欲的にしっかり合唱練習に取り組み始めている。</li> <li>・学習に対する集中力の違いから、基礎的知識の理解においての差がでてしまった。</li> </ul>



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の関心・意欲には個人差があり、具体的指導が入りやすい生徒と関心の薄い生徒との距離を縮めるようにする。</li> <li>・基礎的知識の指導は能率良く出来たが、理解の徹底が今一步だった。</li> <li>・提出物の意識は比較的あるが、内容の低さが問題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対してはわかりやすく丁寧に説明をする。基本的な呼吸・発声を継続していく。</li> <li>・合唱コンクールに向けて、課題曲と自由曲を中心にパート練習の充実、ハーモニー感の会得、表現の工夫をする中で、基礎的知識の理解と表現力を身につけさせる。</li> <li>・提出物や忘れ物に対し、継続して声かけをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートリーダー、指揮者、伴奏者の育成、更に、生徒自身の活動を中心に協力して、のびのびと発声できる指導を工夫する。</li> <li>・他の合唱曲及び混声3部合唱曲に取り組みレパートリーを増やす。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の関心・意欲の個人差があり、全体のレベルアップを図りたい。</li> <li>・基礎的知識の指導は比較的能率良く出来たが、集中力の違いからか、理解や応用力に少し差が出てしまった。</li> <li>・鑑賞領域で未提出や表現力不足が少しいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対してはわかりやすく丁寧に説明をする。基本的な呼吸・発声を継続していく。</li> <li>・合唱コンクールに向けて課題曲と自由曲を中心にパート練習の充実、ハーモニー感の会得、表現の工夫をする中で、基礎的知識の理解と応用力を身につけさせる。</li> <li>・鑑賞での理解力を高める為、要点を抑え素直に表現する力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートリーダー、指揮者、伴奏者の育成、更に、生徒自身の活動を中心に協力して、のびのびと発声できる指導を工夫する。</li> <li>・他の合唱曲及び混声3部合唱曲に取り組みレパートリーを増やす。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年生の自覚と共にしっかり合唱練習に取り組み始めた。</li> <li>・授業への関心・意欲が高くなり、全体的に努力を始めているが、基礎的知識の理解の差はなかなか縮まらない。</li> <li>・鑑賞領域では、素直で的確な表現力が付いてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対してはわかりやすく丁寧に説明をする。呼吸・発声法を継続すると共に、豊かな表現力を身につけさせる。</li> <li>・合唱コンクールに向けて、課題曲と自由曲を中心にパート練習の充実、ハーモニー感の会得、表現の工夫を行う。又、専門的な発声の指導を加える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートリーダー、指揮者、伴奏者の育成、更に、生徒自身の活動を中心に協力して、のびのびと発声できる指導を工夫する。</li> <li>・他の合唱曲及び卒業に向けての混声合唱曲に取り組む。</li> </ul>